南海トラフ巨大地震
NHK
00 訓練の開始
“半割れ”
©NASA

社会インフラの被害

電力	• 千葉・東京・神奈川・長野・静岡・愛知・三重・大阪・兵庫で供給支障 • 発災後3日で多くの地域で復旧するが、長野・静岡・愛知・三重の一部で供給支障が残る • **2か月後**にはほぼ全域で復旧
通信	• 固定電話・携帯電話とも、発災直後は通信障害が発生、1日後には概ね通話可能になるが、一部地域では障害が残る**1か月後**にはほぼ全域で復旧
水道	• 千葉・東京・神奈川・長野・静岡・愛知・三重・大阪・兵庫・和歌山・徳島・愛媛・高知で断水 • 3日後に千葉・東京・神奈川・大阪・兵庫の一部で断水解消、**2か月後**にはほぼ全域で復旧
交通	• 静岡・愛知・三重で新幹線・在来線とも不通、**2か月後**にはほぼ全線で運転再開 • 高速道路・幹線道路の通行止め多数**2週間後**に主要路線の大半が通行可能、**1か月後**にはほぼ全線で通行可能
港湾	• 清水港・名古屋港・四日市港で被害甚大、1週間後にコンテナ荷役再開・本格復旧着手 • **2か月後**に静岡・愛知・三重の港湾ほぼ復旧
燃料	• 静岡（富士石油）、愛知（コスモ石油四日市製油所、ENEOS知多製油所）の石油コンビナートで**大規模火災**が起こり、非常用発電用の重油を含め、軽油、ガソリン等の供給困難 • 燃料関連施設の完全な復旧には期間が指定できないほどの時間を要する

Network Japan

今から訓練の世界に入ります。
(財) 消防科学総合センター
http://www.isad.or.jp/

被災直前　2024年9月5日(木)　12:50

各地は残暑が厳しい状況

天候:晴

気温:29℃

皆さんは通常通り業務を行っています。

社会インフラ								経営資源				
電気	携帯電話	固定電話	インターネット	水道	都市ガス	幹線道路	鉄道	PC	システム	OA機器	人員	社屋
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Network Japan

主な被害想定

死者数:323,000人(東割れ84,000人)

負傷者数:623,000人
要救助者:340,000人

帰宅困難者数:約453万人

出典： 写真出典】写真AC

13:00　地震発生！

Network Japan

発災直後　防災アプリからの情報

Network Japan

発災直後の室内の様子

写真出展元：東京消防庁

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災直後　臨時ニュース速報

Network Japan

発災1時間内　臨時ニュース速報

Network Japan

発災1時間内　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報　大津波警報を発表

和歌山・三重で震度7

1. 発生概要 日時 本日13時頃 震源 静岡県沖 規模 M8.0 推定
2. 被害状況 範囲 静岡県から三重県沿岸部 被害 大規模津波 詳細状況 通信網寸断 多数地域孤立
3. 警報 気象庁 臨時情報 調査中 発表 警戒 今後1週間 大規模地震に注意
4. 対応 政府総力を挙げて対応中 避難 多くの地域で避難指示発令
5. 警告 必須 安全確保 他地域 警戒継続

Network Japan

発災1時間内　災害情報

社会インフラ

[発災後1時間以内の情報に基づく]

- 震源地：静岡県沖
- 最大震度：7（和歌山県、三重県の一部）
- 大規模な津波被害：静岡県から三重県の沿岸部
- ライフライン：広範囲で機能停止
- 交通網：東海地方を中心に陸海空すべてで麻痺状態
- 通信状況：被災地との連絡が困難
- 避難状況：沿岸部を中心に大規模避難が進行中
- 救助・支援活動：開始されるも、アクセス困難により難航

世の中の状況

- 沿岸部を中心に大規模避難が開始。内陸部でも揺れによる被害が報告されている。交通渋滞や避難所の収容能力超過など、二次的な問題も発生。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
不明	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	？？	ー	ー

全般的に機能不全状態が続いている。一部地域で応急対応が開始されたが、本格的な復旧には至っていない。

Network Japan

発災3時間後　臨時ニュース速報

Network Japan

発災3時間後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報　大津波警報発表中

南海トラフ巨大地震 被害拡大
沿岸部で甚大な津波被害 救助活動難航
西側での地震発生に厳重警戒 初の臨時情報発表

1. 被害状況 範囲 静岡県から三重県沿岸部 被害 想定超の津波
   多数地域孤立 救助 道路寸断 建物倒壊で難航
2. ライフライン 復旧 見通しが立たない 状況 水 食料 医薬品不足 深刻化
   避難所 収容能力超過 混乱の拡大
3. 政府対応 自衛隊 大規模派遣決定 救助活動の本格化へ
   被害全容把握不能
4. 臨時情報 巨大地震警戒 初発表 対象 西側領域 大規模地震危険性上昇
   避難要請 和歌山 徳島 高知 大分 沿岸部
5. 注意喚起 西日本全域 警戒継続 避難準備 特に配慮すべき者の行動指
   針 自治体の指示に従い適切に避難

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災3時間後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震（M8.0）発生3時間後の状況概要]

- 被害地域：静岡県から三重県の沿岸部を中心に甚大な被害
- 津波被害：最大波高10m超の地域あり（観測値）
- 人的被害：死傷者多数の見込み、詳細は確認中
- ライフライン：広範囲で機能停止が継続、復旧の見通し立たず
- 交通網：東海地方を中心に依然として麻痺状態
- 通信状況：一部回復するも、被災地との連絡は依然困難
- 避難状況：避難所の収容能力超過、車中泊避難者増加
- 救助・支援活動：自衛隊派遣決定、本格的な活動開始へ
- 臨時情報：気象庁が南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）を発表

世の中の状況

- 避難所が各地で開設されているが、想定を上回る避難者により一部で混乱が発生。物資の不足も報告されている。臨時情報を受け、新たな避難の動きも見られる。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	？？	ー	ー

広範囲でインフラの機能不全が発生。被害の詳細は不明だが、復旧には相当の時間を要すると予想される。

Network Japan

発災6時間後　臨時ニュース速報

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災6時間後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報　大津波警報発表中

南海トラフ巨大地震 想像を絶する被害の全容が明らかに
確認された死者100人超、負傷者1000人以上 被害拡大の恐れ
西側での巨大地震発生の脅威迫る

1. 人の被害 死亡者 100 人超 負傷者 1000 人以上 専門家による警告 実際はさらに多くの可能性があります
2. 地域別被害 静岡県 10m超津波 沿岸部壊滅 愛知県 低地帯広範囲浸水 三重県 コンビナート大規模火災
3. 救助活動状況 自衛隊 消防 警察 懸命の活動 多くの地域 孤立状態継続 上空からの救助 悪天候で限定的
4. 避難所状況 収容能力 限界超え 物資 水 食料 医薬品不足 深刻化 ライフライン 復旧見通し立たず
5. 警戒情報 気象庁 臨時情報(巨大地震警戒)継続 西側地域 大地震発生の可能性切迫 和歌山 徳島 高知 大分 即時避難要請

UN GLOBAL COMPACT Network Japan

発災6時間後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生6時間後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域に拡大
- 津波被害:最大波高12m超の地域を確認(静岡県)
- 人的被害:死者100名以上、負傷者1000名以上、詳細確認中
- 建物被害:全壊・半壊多数、沿岸部で広範囲な浸水被害
- ライフライン:一部地域で復旧開始も、広範囲で機能停止継続
- 交通網:幹線道路で緊急車両の通行確保進む、鉄道は依然不通
- 通信状況:携帯電話の輻輳緩和、固定電話とインターネットは回復遅れ
- 避難状況:避難者50万人超、物資不足深刻化
- 救助・支援活動:自衛隊2万人態勢、救助活動本格化も難航
- 臨時情報:気象庁が南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)を発表西側領域での地震発生の可能性に警戒呼びかけ西側領域での地震発生に警戒を呼びかけ

世の中の状況

- 避難所の混雑状態が継続。物資不足や衛生状態の悪化が報告される。帰宅困難者の滞留も問題化。臨時情報を受け、新たな避難の動きも。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	ー	ー

一部で復旧の兆しが見られるものの、依然として広範囲で機能不全が継続。復旧作業は各所で難航。

Network Japan

発災12時間後　臨時ニュース速報

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災12時間後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報　大津波警報発表中

南海トラフ巨大地震 被害拡大の一途 死者1000人超える
コンビナート火災猛威 避難者100万人突破
西側での連動地震に厳重警戒

1. 人の被害 死亡者1000人超 負傷者1万人以上 建物被害全半壊20万棟超
2. 地域別被害 静岡～三重 沿岸部壊滅の被害 静岡県 最大波高15m超の津波 愛知県 コンビナート大規模火災
3. 避難状況 避難者数 100万人突破 避難所 不足と物資枯渇の深刻化 ライフライン 広範囲で機能不全継続
4. 救助活動 自衛隊 5万人態勢で対応 24時間体制継続 道路寸断 建物倒壊で難航
5. 警戒情報 気象庁 臨時情報(巨大地震警戒)継続 西側地域 大地震発生の可能性高 和歌山 徳島 高知 大分 避難継続要請

Network Japan

発災12時間後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生12時間後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域に拡大
- 津波被害:最大波高15m超の地域を確認(静岡県)
- 人的被害:死者1000名以上、負傷者1万名以上、詳細確認中
- 建物被害:全壊・半壊20万棟以上、沿岸部で広範囲な浸水被害継続
- コンビナート火災:愛知県で大規模火災発生、周辺地域に避難指示
- ライフライン:一部地域で復旧進むも、広範囲で機能停止継続
- 交通網:幹線道路の啓開進むも、鉄道は依然広範囲で不通
- 通信状況:携帯電話はほぼ復旧、固定電話インターネットは回復遅れ
- 避難状況:避難者100万人超、避難所不足・物資不足深刻化
- 救助・支援活動:自衛隊5万人態勢、救助活動24時間体制で継続
- 臨時情報:気象庁が引き続き南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)を発表。西側領域での地震発生の可能性に警戒呼びかけ継続

世の中の状況

- 避難所の過密状態が深刻化。物資不足、衛生状態の悪化が顕著に。帰宅困難者の滞留も長期化。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	△	○	△	△	×	×	×	△	×	×	×	×	ー	ー

一部地域で復旧が進むも、被災地を中心に依然として広範囲で機能不全が継続。

Network Japan

発災1日後　臨時ニュース速報

Network Japan

発災1日後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報　　大津波警報発表中

南海トラフ巨大地震 惨状深まる一方 死者2000人超え、
避難者150万人突破
コンビナート火災制御不能 西側での巨大地震発生の脅威迫る

1. 人・物の被害 死亡者2000人超 負傷者2万人以上 建物全半壊30万棟超
2. 被災地状況 静岡～三重沿岸部壊滅 愛知県コンビナート火災継続
3. 避難状況 避難者150万人超 避難所限界状態
4. 救助・ライフライン自衛隊7万人体制で対応 広範囲で機能不全継続
5. 警戒情報 臨時情報(巨大地震警戒)継続 西側で大地震発生の可能性

Network Japan

発災1日後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生24時間後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域に拡大
- 人的被害:死者2000名以上、負傷者2万名以上、詳細確認中
- 建物被害:全壊・半壊30万棟以上、沿岸部で広範囲な浸水被害継続
- コンビナート火災:愛知県で大規模火災継続、周辺地域に避難指示
- ライフライン:被災地で広範囲の機能停止継続、一部地域でわずかに回復の兆し
- 交通網:一部幹線道路で緊急車両の通行確保、鉄道は依然広範囲で不通
- 通信状況:携帯電話の輻輳緩和、固定電話とインターネットは回復遅れ
- 避難状況:避難者150万人超、避難所の長期化対策急務
- 救助・支援活動:自衛隊7万人態勢、救助活動24時間体制で継続
- 臨時情報:気象庁が引き続き南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)を発表

世の中の状況

- 避難所の長期化対策が急務。物資不足、衛生状態の悪化が顕著に。帰宅困難者の一部は徒歩での帰宅開始。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	ー	ー

被災地を中心に依然として広範囲で機能不全が継続。一部地域でわずかに回復の兆しがあるが、本格的な復旧には長期間を要する見込み。

発災3日後　臨時ニュース速報

UN GLOBAL COMPACT Network Japan

発災3日後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報

被害拡大と新たな脅威
日向灘で震度5弱の地震発生警戒続く

1. 人・物の被害 死亡者5000人超 負傷者3万人以上 建物全半壊40万棟超
2. 避難状況 避難者200万人突破 避難所で感染症蔓延の脅威
3. ライフライン・交通広範囲で停電継続 交通網寸断 多くの地域が孤立
4. 新たな脅威 日向灘で震度5弱の地震発生 臨時情報(調査中)発表 警戒継続
5. 救助・復旧活動 自衛隊10万人体制で対応 コンビナート火災鎮火も環境汚染リスク

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災3日後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生72時間後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域
- 人的被害:死者5000名以上、負傷者3万名以上、詳細確認中
- 建物被害:全壊・半壊40万棟以上、沿岸部で浸水被害継続
- 余震状況:東海地方で余震継続、日向灘で震度5弱の地震発生
- コンビナート火災:鎮火するも環境汚染の懸念
- ライフライン:被災地で機能停止継続、一部地域で徐々に復旧
- 交通網:幹線道路の啓開進展、鉄道は一部で運転再開も広範囲で不通継続
- 通信状況:携帯電話は輻輳緩和も一部不通、固定電話とインターネットは広範囲で障害継続
- 避難状況:避難者200万人超、避難所の衛生状態悪化
- 救助・支援活動:自衛隊10万人態勢、救助活動継続
- 臨時情報:気象庁が南海トラフ地震臨時情報(調査中)を発表、状況を注視

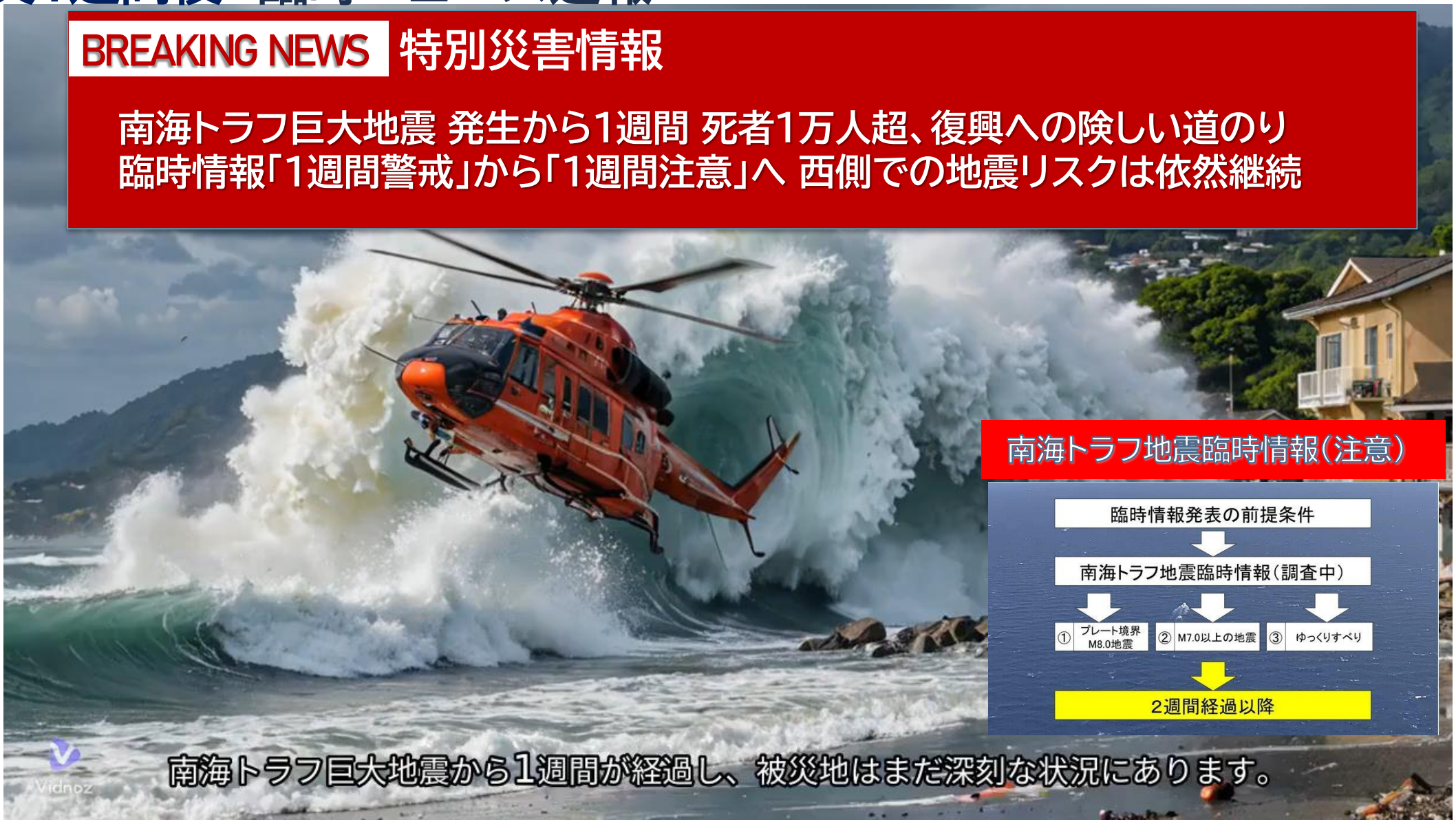
世の中の状況

- 避難所の過密状態が継続。衛生状態の悪化による感染症リスクが高まる。物資不足も依然として深刻

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	×	○	×	×	×	×	×	△	×	×	△	×	△	ー

被災地を中心に機能不全が継続。一部地域で復旧が進むも、本格的な回復には時間を要する見込み。被災地で機能停止継続。特に中部電力管内では広範囲の停電が続く。他地域では一部で徐々に復旧。

発災1週間後　臨時ニュース速報



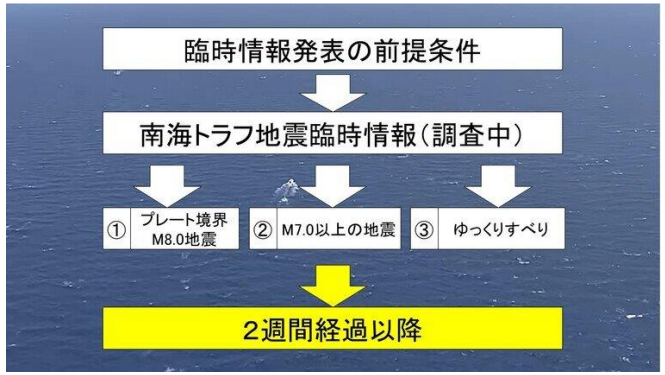
UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災1週間後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報

南海トラフ巨大地震 発生から1週間 死者1万人超、復興への険しい道のり
臨時情報「1週間警戒」から「1週間注意」へ 西側での地震リスクは依然継続

1. 人の被害死亡者 1 万人超 4000 人以上の安否不明
2. 被災地状況 静岡～三重沿岸部 壊滅の被害継続 20万世帯 停電 水道復旧遅延
3. 避難状況 避難者150万人超 避難所で感染症集団発生
4. 警戒情報 臨時情報「1週間注意」に更新 西側大規模地震の可能性低下も警戒継続
5. 復旧・復興の長期化が確実 政府・自治体・支援団体が総力対応



UN GLOBAL COMPACT Network Japan

発災1週間後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生1週間後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域
- 人的被害:死者1万名以上、行方不明者4000名以上
- 建物被害:全壊・半壊50万棟以上、沿岸部で広範囲な浸水被害跡
- 余震状況:頻度は減少傾向だが、震度4以上の余震が時折発生
- ライフライン:被災地で機能停止継続、一部地域で徐々に復旧
- 電力:中部電力管内で約100万世帯が依然停電中
- 水道:静岡・愛知・三重を中心に広範囲で断水継続
- 交通網:幹線道路はほぼ復旧、鉄道は一部で運転再開も広範囲で不通継続
- 通信状況:固定電話は一部復旧も、インターネットは広範囲で不通継続
- 避難状況:避難者150万人超、避難所の一部で感染症集団発生
- 救助・支援活動:自衛隊15万人態勢、各地からボランティア続々
- 復興:一部地域で瓦礫撤去開始、仮設住宅建設に着手
- 臨時情報:「1週間警戒」から「1週間注意」へ移行

世の中の状況

- 避難所生活の長期化に伴い、心身の健康悪化が深刻化。仮設住宅建設も資材不足により遅延。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	×	○	×	×	×	×	×	△	×	×	△	△	△	ー

被災地を中心に依然として広範囲で機能不全が継続。復旧作業は人員不足と資材不足により難航。

Network Japan

発災2週間後　臨時ニュース速報

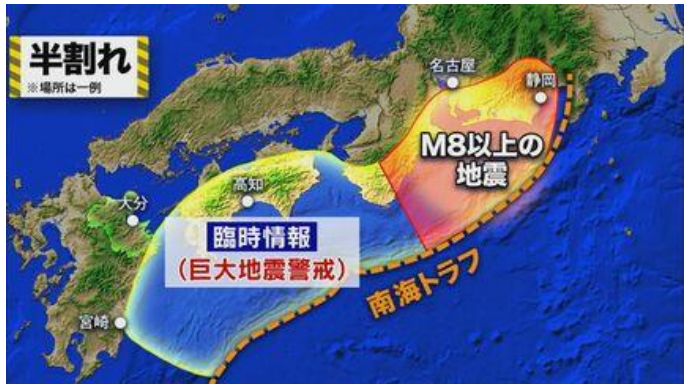
Network Japan

発災2週間後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報

南海トラフ巨大地震 発生から2週間復興への険しい道のり
気象庁が臨時情報解除も、被災地の苦境続く

1. 警戒情報 気象庁 臨時情報解除 通常の地震への警戒は継続
2. ライフライン状況約100万世帯が停電継続 水道復旧も遅延
3. 避難・医療状況 避難所生活者100万人超 感染症集団発生 医療体制の厳重化
4. 経済への影響 東海地方工業地帯の被災影響が全国波及し、自動車・電機産業で部品供給が滞る
5. 復旧・復興状況がれき撤去作業本格化も難航仮設住宅建設開始必要数に遠く及ばず



Network Japan

発災2週間後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生2週間後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域
- 人的被害:死者1万2000名以上、行方不明者2000名以上
- 建物被害:全壊・半壊55万棟以上
- ライフライン:被災地で機能停止継続、復旧は遅延
- 電力:中部電力管内で約100万世帯が依然停電中
- 水道:静岡・愛知・三重を中心に広範囲で断水継続
- 交通網:幹線道路の復旧進むも、鉄道は広範囲で不通継続
- 避難状況:避難者100万人超、避難所の衛生状態悪化
- 産業影響:部品供給網の寸断により全国で生産停滞
- 復興:がれき撤去本格化、仮設住宅建設に遅れ
- 二次災害:土砂災害の危険性継続、感染症流行の懸念
- 臨時情報:気象庁が臨時情報を解除、通常の地震への注意を呼びかけ

世の中の状況

- 避難所生活の長期化に伴い、心身の健康悪化が深刻化。
- 東海地方の工業地帯の被災による影響が全国に波及。
  自動車や電機産業を中心に部品不足による生産停滞が顕在化。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	△	○	△	×	×	×	×	○	△	△	○	○	○	×

被災地を中心に依然として広範囲で機能不全が継続。復旧作業は人員不足と資材不足により難航。

Network Japan

発災1か月後　臨時ニュース速報

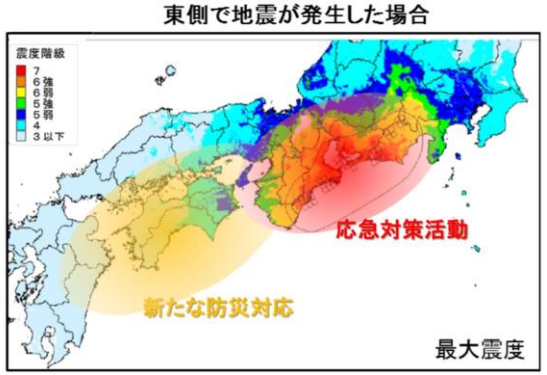
UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災1か月後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報

南海トラフ巨大地震 発生から1か月 復興への長い道のり
ライフライン復旧進むも、被災地なお深刻な課題山積

1 ライフライン電力：約50万世帯継続 水道：復旧進むも下の水道に課題
2 避難状況 避難所生活者約80万人に減少 仮設住宅建設に遅れ
3 交通インフラ 東海道新幹線一部区間で運転再開 在来線が多くが不通状態継続
4 産業・経済影響 自動車産業の生産停滞長期化 サプライチェーン断で経済回復に課題
5 今後の見通し 復興への道のりの長期化予想 継続的な支援と粘り強い取り組みが必要



Network Japan

発災1カ月後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生1か月後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域
- 人的被害:死者約8000名、行方不明者約1000名
- 建物被害:全壊・半壊約60万棟
- ライフライン:一部地域で復旧も、被災地では機能不全が継続
- 電力:中部電力管内で約50万世帯が依然停電中
- 水道:静岡・愛知・三重の一部で断水継続
- 下水道:処理能力制限付きで稼働、完全復旧には長期間必要
- 通信状況:携帯電話はほぼ復旧、固定電話とインターネットも回復傾向
- 交通網:幹線道路はほぼ復旧、鉄道は一部運転再開も広範囲で不通継続
- 避難状況:避難者約80万人、仮設住宅への移転開始も遅延
- 産業影響:自動車産業を中心に生産停滞が継続、経済への影響拡大
- 復興:がれき撤去進む、本格的な復興計画策定開始
- 臨時情報:解除。ただし通常の地震への警戒は継続

世の中の状況

- 避難所の集約進む。仮設住宅への移転開始も、需要に追いつかず
- 東海地方の工業地帯の被災による影響が継続。自動車産業を中心に部品不足による生産停滞が長期化。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	△	◎	○	○	△	△	△	◎	△	○	○	○	○	×

被災地の一部で機能回復。ただし、完全復旧には至らず。

Network Japan

発災2か月後　臨時ニュース速報

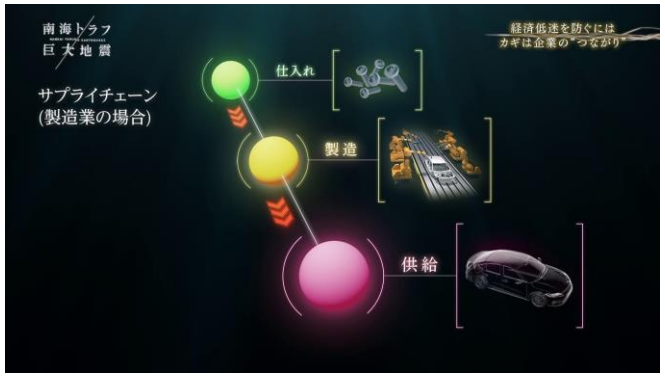
UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災2か月後　臨時ニュース速報

BREAKING NEWS　特別災害情報

南海トラフ巨大地震 発生から2か月
復興への歩み進むも、被災地になお課題山積

1 ライフライン復旧 電力・水道：大半の地域で回復 下の水道：一部地域で遅れ 衛生面に懸念
2 避難・住宅状況 避難生活者：約50万人に減少 仮設住宅：移転進むも恒久住宅に課題
3 交通インフラ 新幹線：全線運転再開 在来線：一部不通区間残る
4 産業・経済 中小企業：復興に遅れ 自動車産業：生産停滞継続
5 今後の展望 復興計画：策定本格化 災害に強い街づくりを目指す



UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

発災2カ月後　災害情報

社会インフラ

[南海トラフ地震(M8.0)発生2か月後の状況概要]

- 被害地域:東海地方を中心に西日本広域
- 人的被害:死者約9000名、行方不明者約500名
- 建物被害:全壊・半壊約65万棟
- ライフライン:大半の地域で復旧、一部地域で機能不全継続
- 電力:ほぼ全域で復旧、一部沿岸部で復旧作業継続
- 水道:大半の地域で給水再開、一部地域で復旧作業継続
- 下水道:処理能力制限付きで稼働、完全復旧には更に時間必要
- 通信状況:ほぼ全域で復旧
- 交通網:幹線道路はほぼ復旧、鉄道も主要路線で運転再開
- 避難状況:避難者約50万人、仮設住宅への移転進むも住宅不足深刻
- 産業影響:一部で生産再開も、中小企業を中心に復興遅れる
- 復興:本格的な復興計画策定、長期的再建に向けた取り組み開始

世の中の状況

- 避難所の集約進む。仮設住宅への移転開始も、需要に追いつかず
- 東海地方の工業地帯の被災による影響が継続。自動車産業を中心に部品不足による生産停滞が長期化。

社会インフラ														
臨時情報	電気	携帯電話	固定電話	インターネット	ガス	上水道	下水道	幹線道路	鉄道	湾港	空港	火災	余震活動	産業への影響
発表中	◎	◎	◎	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	○	△

被災地の大半で機能回復。一部地域で完全復旧に至らず。

Network Japan

東側の半割れ発災からXか月後　臨時ニュース速報

対策本部訓練　202X　XX月XX日

南海トラフ地震半割れ

西側割れM8.0　発災直後1時間以内